

平成28年度 第1回新温泉町行財政改革推進委員会会議録（要旨）

[開催日時] 平成28年5月26日(木)午後1時28分～午後3時35分

[開催場所] 浜坂多目的集会施設 1階 会議室

[出席者] 河越委員、熊本委員、小谷委員、中澤委員、  
西脇委員、橋本委員、藤田委員、松岡委員

行政 小西副町長

事務局 西村総務課長、中島課長補佐、竹中主査

[欠席者] 朝野委員、仲山委員、森田委員

[傍聴者] ー

=====

[会議次第]

1 開 会

2 委嘱状交付

3 あいさつ

4 委員自己紹介

5 委員長・副委員長の選任

6 会議の公開について

7 議 事

(1) 第3次行財政改革大綱及び実施計画の平成27年度実績について

(2) 平成28年度 町政方針及び財政状況について

8 そ の 他

9 閉 会

## [内 容]

### 1 開 会

### 2 委嘱状交付

(副町長から各委員に委嘱状を交付)

### 3 あいさつ

副町長：委員の皆様には、平素から行政全般にわたりご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

- ・平成26年度には第3次の行革大綱を策定していただいた。
- ・昨年度の国勢調査の速報数値では人口が14,818人と減少はしているが、減少率としては、県内で下から8番目であり、前回調査に比べ若干、減少率は緩和してきている。
- ・交付税など一般財源の縮減に備えながらも、住民サービス等の維持を図るためにも、行革を推進していきたい。

### 4 委員自己紹介

(各委員による自己紹介)

### 5 委員長・副委員長の選任

(委員長に中澤委員、副委員長に河越委員が就任)

### 6 会議の公開について

(会議は原則公開。会議録を作成し、総務課に備え付けるとともに、町のホームページにて公表)

### 7 議 事

#### (1) 第3次行財政改革大綱及び実施計画の平成27年度実績について

(事務局説明)

#### ・主な意見等

委員：(新地方会計制度の導入に関して) 公共施設等総合管理計画策定に係る業務委託契約、財務書類作成システム利用に係る業務調整とは一体どんなものなのか。

事務局：28年度決算から自治体でも財政分析の一つとして一般企業と同様の複式簿記が導入される。その前段として自治体が保有している建物・道路などの資産の評価額が必要になる。そのための評価額の算定や、公共施設の今後の運用に等に関する管理計画の策定などを一体とする

委託契約や、システムの利用契約を行っている。

委員：未利用財産について、価格設定が高すぎる。実勢価格に沿った価格設定をするなり、未利用地の分割など専門家の意見を取り入れるべきではないか。

事務局：鑑定士にお願いして価格設定をしている。土地の分割について検討する。又、議会議決による価格の減額も検討する。

委員：水道、温泉、下水道事業などの効果額は計画額を下回っているが、B評価でよいのか。また料金改定に関する中間答申はどういったものなのか。

事務局：現在、決算統計中であり数値は変わる可能性がある。料金改定に関する中間答申については、27年度の決算を受けて、料金改定の時期について決定する。

委員：下水道の接続率はどうか。

事務局：微増で推移している。

委員：病院事業について外来患者数は増えているように思えるが、財務状況の改善が見られない。抜本的にメスを入れるべきではないか。

事務局：医業収入は医師の人数によって左右される。医師・看護師の確保をす  
る中で改善を図っていく。仮に黒字にならなくても赤字が縮小するよう  
に取り組んでいく。

委員：病院経営は非常に厳しく、行財政改革の根幹(本丸)だと思っている。

委員：CATVの在り方についてはどうか。

事務局：CATVについては、29年度には整備に係る借入金の償還が終わる。  
また、浜坂地域の防災無線もデジタル化された事もあるので、29年  
度に併せて見直しの検討を行う予定である。しかし、町長も議会の答  
弁でも発言しているが、引き続き維持の方向ではある。

委員：町民バスの運行事業について、利用者数が減ったので評価はCなのか。  
人口が減ってきている中で利用者の減少は当然だと思う。利便性が確  
保出来ればよいのではないか。

事務局：数値目標において170,000人という目標を設定しており、その目標を  
達成していないので評価はCとしている。次年度以降の対応にも記載  
はあるが、今後も利便性の確保を行い、さらに効率的な運行について  
検討を行う。

委員：コンプライアンスについて評価はCとなっているが、本来であればAでなければならないのではないか。

事務局：職員に対しての研修などで意識付けをして、より一層の徹底を行う。

委員：地方創生について、国は知恵を出せばいくらでも金は出すとしている。もっと取組を強化すべきではないか。

事務局：昨年の10月末に新温泉町地方創生総合戦略を策定した。それに沿って進めていく。交付金については制約も多く、必ずしも採択されるわけではないので難しい点もある。

委員：区長・町内会長会において「支所の職員数が減ってきている」という質問に対して、町長は「全体の定員が減ってきているため」といった答弁をしたが、もっと「行革の取組みである」といった答弁を前面に出すべきである。

## (2) 平成28年度 町政方針及び財政状況について

(事務局説明)

### ・主な意見等

委員：道の駅について、運営主体はどこなのかなど、実態がよく見えなく、進捗状況がわからない。

事務局：28年度中の夏以降に着工し、29年度の浜坂道路開通に併せて開所する予定である。

委員：収支見通しについて、人口流出も続いている。税収はもっと厳しく見ないといけないのではないか。

事務局：税収については固定資産税の3年に1回の評価替え、人口減少を見込んで出している。

## 8 その他

(特になし)

## 9 閉 会

副委員長：本日は、お忙しい中ご出席いただき、また、たくさんの議事を慎重審議いただき、大変ありがとうございました。